

- 2 須恵町のモノづくり工場見学
- 3 須恵町 文化・芸術News
- 4 高齢者福祉サービスを紹介します
- 6 まちの話題
- 9 考えよう 猫との生活
- 10 12月は国民健康保険(国保)制度の適用適正化月間です
- 11 第三者による行為でケガや病気をした場合は届け出を、歯周病健診は1月31日までです
- 12 高齢者带状疱疹(定期接種)の接種期間は令和8年3月31日までです
- 13 定期予防接種を受けましょう
- 14 病児保育ひまわりルームを開設します、指定学校変更申請について
- 15 新入学準備金(就学援助)申請受け付けについて
- 16 須恵町人事行政の運営などの状況を公表します
- 17 役場からのインフォメーション
- 20 いきいき健康すえながく
- 21 若杉クラブだより、俳句・川柳
- 22 わくわくデイサロン、消費生活110番
- 23 粕屋警察署だより、みんなを守る119、商工会だより
- 24 情報いろいろ
- 26 図書館だより
- 27 ハッピーバースデー、乳幼児健診・さんさぼカレンダー
- 28 まちの情報カレンダー 休日当番医、水道指定業者 アザレアホール予定表他
- 30 年末年始の各施設・サービス休業時間のご案内、スポーツフェスタを開催しました！

今月の表紙 須恵みなみ幼稚園 運動会



今月号の表紙は、須恵みなみ幼稚園の運動会の様子です。当日は雨天のため屋内での実施になりましたが、オープニングのバルーンやダンス、リレー、組体操など盛りだくさんのプログラムで、園児たちの成長を感じる姿に会場は終始歓声に包まれていました。

関連ページは7ページ



須恵町 文化・芸術News



東京の永田町から須恵焼が出土しました

国会議事堂や首相官邸など、日本の中枢を担う施設が立ち並ぶ東京都千代田区永田町。内閣府新庁舎の建設に伴う発掘調査で、須恵焼をはじめとする福岡産の陶磁器や黒田家の家紋入りの瓦が出土しました。今年9月に刊行された発掘調査報告書の概要をお伝えします。

江戸時代には火事が多く発生し、被災した多くの瓦礫は穴を掘って廃棄したり、火災後の造成に用いられたりしました。発掘調査を実施した旗本屋敷においても寛政6年(1794)、嘉永3年(1850)の大火による被害は甚大で、推定100 t以上の瓦が廃棄されています。

整地層の中に黒田家の家紋入りの瓦が含まれており、須恵焼もここから出土しました。江戸時代、黒田藩の上屋敷があった現在の外務省とは直線距離で200mほど離れており、直接の関連は分かりませんが、何らかの理由でこの土地に造成用の埋め立て資材として持ち込まれたようです。

須恵焼が江戸で出土した事例は、秋月藩の江戸屋敷での出土に続く2例目で、上須恵で焼かれた須恵焼が江戸で用いられたことを示す貴重な資料となります。



出土した須恵焼

覗いてみよう



須恵町のモノづくり工場見学

須恵町はモノづくりが盛んで、たくさんの会社や工場があるのはご存じですか。須恵町から全国、世界へとさまざまな「モノ」が届いています。そんな須恵町の魅力の1つであるモノづくりの現場を覗いてみましょう！

今回は「篠原製本株式会社」を紹介します。

■会社名
篠原製本株式会社
☎ 692-8738

ホームページはこちら



■会社紹介

弊社は創業から90年を迎えました。創業から一貫して行なっているのは「価値ある形で情報を残すこと」です。特殊な製本は関東、関西でしかできないとお考えではないでしょうか。実はその製本は福岡で加工できます。上製本(厚手の表紙で本文を覆う製本)やPUR製本(耐熱性に優れ、高い強度を持った製本)、手帳製本などの加工ができ、和綴じやお経本、御朱印帳の製本加工も得意としています。

また、弊社は企業主導型保育園を自社運営しています。自社内の子育て世帯のお子さまや地域の企業に勤めている人のお子さまをお預かりしています。

これからも特殊製本と保育が得意な製本会社として、歩み続けます。



インタビューを受けた篠原さん



今回は代表取締役社長の篠原さんにお話を伺いました。

どんなお仕事をされていますか？

弊社は、2つの事業を展開しています。

1つ目は、組み立てに特化した製本事業です。日本の9割以上は関東、関西で製本されていますが、私たちは福岡で製本をしており、印刷物を組み立てて、皆さんのよく知る本の形にする仕事をしています。また、書店に並ぶ本だけでなく、誰もが一度は手にしたことがあるだろう卒業アルバムなどの製本や、自治体や会社、大学などの記念誌、福岡市の母子手帳、御朱印帳など、皆さんの身近なものを製本しています。

2つ目は、保育事業です。弊社は須恵町と志免町で企業主導型保育園を運営しており、柔軟な保育時間やサポート体制を整え、安心してお子さまを預けていただけるよう心がけて運営しています。

篠原製本株式会社の魅力を教えてください。

「特殊製本と保育が得意な製本会社」としていますが、たまに「製本と保育って全然違う事業だね」というお声をいただきます。しかし実は2つの事業にはつながりがあって、私たちが保育園運営を始めたきっかけは、「お母さんたちが働きやすい環境を作りたい」との思いからでした。弊社の従業員のお子さまは優先して入園できるように考慮し、保育料も半額にしています。仕事をする中でのサポート体制も整え、同じ会社に所属している保育士が子どもを見てくれる安心感を得ながら仕事ができるような仕組みを作っています。

仕事をしていてやりがいに感じることは何ですか？

製本の発注は最低注文部数を多く設定している会社もあり、在庫が余ることを考えると作りたいけど踏み出せないという声も耳にします。弊社は少数数からでも発注していただけるようにしており、御朱印帳の発注をいただくこともあります。その中で、ある

保育園を運営する中で、篠原さんはどのようなことをされていますか？

保育園では年に3〜4回ほど、動物園や水族館など遠足に行っています。遠足の時は私がバスを運転して行っているのですが、子どもたちは私をバスの運転手さんだと思っているようです。また、ハロウィンやクリスマス、節分などのイベントの時には、子どもたちにお菓子を配ったり、サンタクロースの格好をしてプレゼントを渡したり、鬼になったりしています。保育園を運営する中で保育士の生の声を聞くことができるため、今後は絵本の制作にも力を入れていこうと思っています。

読者の皆さんにひとこと

最近は紙製品も減ってきていますが、御朱印帳や絵本など紙ならではの良さがある製品もたくさんあります。弊社は全国でも珍しい福岡にある製本会社として、和の文化を大切に、紙製品を残していこうと、ふるさと納税への出品や商品作りなどさまざまな挑戦をしています。また、弊社では障がいを持っている人にも働いてもらっており、「本が好き、本に携わりたい」という気持ちを持っている人に、障がいの有無関係なく、安心して働いてもらうことができます。生活の身近にある本が完成していく工程を見る機会はなかなかないと思いますが、こういう会社が須恵町にあるということを知っていただけたらと思います。



工場内の様子



ハロウィン行事の様子

☎ 記事に関するお問い合わせ…まちづくり課 広報広聴係 ☎ 932-1153(ダイヤルイン) ☎ 932-1151(内線342)